

# さっぽろ 市議団ニュース

2013年10月17日  
No.85

日本共産党市議団事務局発行  
電話 211-3221 FAX218-5124

## 市の業務委託先で異常な労働実態 決算委 坂本議員が追及

坂本恭子議員は10月16日の決算特別委員会(Ⅱ)で、市の業務委託先である株式会社キタデンでの異常な労働実態について取り上げました。

坂本議員は、「本市が発注する業務委託先でこの6年間、1回も法律にもとづく週1日の休日も取れず、15時間勤務で休憩が1時間、日給が7000円のままだった」という事例を紹介し「過労死にもなりかねない、あってはならない過酷で異常な働き方だと思わないか」と問いかけ、こうした事例はこの会社だけに限ったことでないのではないか。ただちに実態調査をすべきではないか」と追及しました。

答弁にたった宮浦建設局長は「法令を遵守させ、同様のことがないように調査をしていきたい」と述べ、上田市長も「本市のもとで働いている方の不適正で過酷な労働実態、全く遺憾に思う。契約更新時のチェックをしっかりしたい。労働環境を守っていくことは大事。長年続いたホコロビ、他にもあるのではないかと思う。何ができるか考えたい」と前向きに応じました。

坂本議員は「あってはならないことが現実には起きているという告発だ。真摯に受け止めて解明し、実態を調査し是正すべき」と強調しました。

## これからは機械式地下駐輪場の検討を 決算委 小形議員が提起

小形香織議員は10月16日の決算特別委員会(Ⅱ)で、地下鉄駅周辺部などで不足する、自転車駐輪場問題を取り上げました。

小形議員は、建設局中塚総務部長が「借地方式はトラブルのもと、基本は用地確保ですすめる」としながら「用地確保が難しい、何時までにとどうとは言えない」と消極的答弁を繰り返すのに対し、「地下鉄駅など中心部や中心部に近いところほど用地確保が難しく、ほとんど整備されておらず、歩行者の安全もままならない状態が解決されていないではないか」と問いかけ、「用地確保が難しいのなら、狭い土地でも多くの自転車が駐輪できる自走式や機械式地下駐輪場(85坪あれば1000台可能、国庫補助1/2)を検討する時期に来ているのではないかと提起しました。